

令和6年度 郡山ヘアメイクカレッジ
学校関係者評価報告書
学校関係者評価報告責任者: 学校長 佐藤知子

1. 学校関係者評価委員

①菅野 茂 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
②鈴木 扶美 スタジオ・シェルパ代表 卒業生

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和 6年 8月 5日 本校会議室
第2回委員会 令和 7年 3月 31日 本校会議室

3. 学校関係者評価委員会報告

①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【令和6年度に定めた課題事項】

- サービス業の基本であるコミュニケーション能力(言葉遣い・マナー・礼儀・返事・あいさつ)を高めさせる。
- 学力、技術面においての個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップ及び意欲的に資格取得をめざす意識づけをする。
- 専門技能と応用力に加え積極性を身に付け、粘り強く美容業界で望む人材を育成する。
- 教員に対する指導力向上及び資格取得のための研修参加などレベルアップをはかることにより意識と自信を高め教育に活かすことが出来るようにする。

(1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

①課題

- ・育人人材像など保護者に対しての周知があまりできていない。
- ・学校生活の中で授業だけでなくスムーズで良好な学生同志の関係を築いていける環境にしたい。
- ・コミュニケーション能力(特に言葉遣い、あいさつ)が低い学生が一部いる。
- ・接客業として基本となるコミュニケーション能力が低くなっている学生が増えている。

②今後の改善方策

- ・保護者が集る参観日や招集日などの機会に教育方針も含め意識して伝えていく。(だからこういう授業展開をしている…みたいな)(広報として使用しているSNS等でも発信)
- ・人間力の中でも対人関係力や思いやりの精神を養える授業のやり方を考えたい。
- ・学校生活(ホームルームのあいさつ、授業のあいさつ、普段の会話)で気付いたときに指導していくこと。
- ・コミュニケーション能力を向上させる為にも指導は勿論、実践形式を増やして、人との関わりを多くさせる。

③特記事項

- ・自己主張が強い学生も増えてきており、好き嫌いがはっきりしてしまっているのもそういう学生にも指導しなければならないと思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(2)学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

①課題

- ・業務の効率化において、共有部分のデータ整理が必要と思われる。
- ・令和9年度からの改正である、通信教育の600時間や少子化による学生の減少を踏まえた学校運営対策。
- ・SNSが主流になりつつあり、広報、その他アポイント等もネットでの活用が増えている。

②今後の改善方策

- ・システム使用時、不要な部分の削除をしていく。(ゆとりがある時実施)
- ・通信教育の面接授業増加に対応できるよう、外来講師等の人員増強など。
- ・使い方も勿論だが、各SNSの用途をより理解をしていかなければならないと思う。

③特記事項

- ・SNSサービスが手軽にできる部分もあって良いところもあるが、通信状況によっては反映されないこともあるので気をつけなければならない。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(3)教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	④	3	2	1

①課題

- ・学生に技術指導をする際、教員一人一人が同じ指導ができるようにすること。
- ・成績不良者と優秀者の差をなるべくなくすこと。
- ・職員の研修に関しては、日々の業務にて難しい部分がある。
- ・ある程度時代に合った教育カリキュラムとその指導方法に対する工夫が必要。
- ・教科書等に則って指導もしているが、応用としていろんな方向性があることをもう少し取り入れてもよいと思う。

②今後の改善方策

- ・定期的な勉強会や情報の共有をしていく。
- ・1年次の早い段階で宿題を出したり、放課後の時間を使い補講をさせる。
- ・先端的知識や技能等修得は可能な限り取り入れていく。(全員が受けやすい4月はじめに計画したい)
- ・これまでのやり方に捉われずに教職員が積極的に意見を出し合う。
- ・外部講師(現役美容師)等の授業等をもう少し取り入れてもよいかなと思う。

③特記事項

- ・フォトコンテスト。
- ・卒業生等の講話、技術の指導など増やすのもよいかなと思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(4) 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①課題

- ・各種資格(ディプロマ含)選択の各資格など取得の努力が見られない学生もいるので意識を向上させたい。
- ・退学者を無くす。
- ・理由が明確ではない退学者。
- ・卒業後の動向が把握しづらい。
- ・令和6年度は就職内定100%を達成できたので、次は卒業後の離職率を減らすための対策にも力を入れる。
- ・就職後の早い段階での退職や上京してすぐ地元に戻ってしまうのも増えている。

②今後の改善方策

- ・どれだけ就活の時に役立つか自分をアピールポイントにもなる事を伝え、努力を促す。
- ・学生との面談、保護者との連携をしていく。
- ・本人への意志確認。
- ・LINEによるグループ分け登録ができるので、それらを利用し把握していく。
- ・卒業生や協力会サロン様の協力を得ての特別授業等。
- ・いかに美容という仕事が好きか、自分の方向性を考えてもらえるよう、指導しなければならない。

③特記事項

- ・今は特化型の働き方も多い為、自分のやりたいもの仕事にできるが、長い目で見たときにはたしてそれがずっと続くかは分からないのでオールマイティーに仕事ができるのが大切だと思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(5) 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

①課題

- ・就職率100%を目指していく。
- ・シャンプー室の使用日を増やす。(カラー、セット、シャンプー練習のため)
- ・高校側より職業教育の一環として以前はあった見学に当校へ来る機会が減っている。
- ・学費に対するサポート体制は整っていると思う。今後はLINEの公式アカウントを活用して保護者や卒業生との連携をより深めてスムーズな業務を行えるようにしたい。
- ・学生の人間関係のトラブル、学力面が著しく低い学生もいるのでだんだんに対応が増えてきている。

②今後の改善方策

- ・就職活動は学生が個人で動いていくが、それに向けてのアドバイスや面談などを行っていく。
- ・当校では高校側の職業訪問等受付けしているなどSNSを通じて打ち出しをする。
- ・連絡や情報公開の作業効率を上げることで学生支援もより充実させることができると思う。
- ・トラブルに関しては今後、状況確認、場合によって保護者との連携を入念にとっていかなければならない。

③特記事項

- ・学力面に関しては指導と保護者の方の協力などで対応しているが、保護者の方がどこまで協力してくれるかも把握しなければいけないかなと思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(6)教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課題

- ・授業の状況によっては、流し場など使用できない場合があり授業変更などする場合がある。

②今後の改善方策

- ・前もって各学年、授業内容を把握する機会を多くする。

③特記事項

- ・それでも予定は予定なのでうまくいかない時もあるが、なるべく計画通りに進めるように努める。
- ・できる範囲での防災訓練ではあるが、年2回実施。
- ・防災の知識の1つとして心肺蘇生法等の講習を職員間で実施していく予定。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

- ・公式LINEでの更なる効率化を実現したい。
- ・新入生を毎年一定数入学させること。
- ・少子化や職業選択する若い人が減っているので、いかに興味をもってもらうかが大切である。

②今後の改善方策

- ・高校へのガイダンス、体験入学など改善をして(前回、前年度の反省)取り組んでいく。
- ・美容師の良さ、楽しさを分かりやすく興味をもてるような説明をしなければならない。
- ・SNS等を活用し学校の特色を発信していく(教育方針等)
- ・高校訪問での進路指導者との関わりを強める。

③特記事項

- ・学校の名前が多く知られるように活動等など参加する。
- ・今年の募集よりAO入試制度導入。
- ・LINEが本格的に始動。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(8)財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

・物価高騰が続いているので、それに伴って入学生等を増やしていかなければならないのかなと思う。

②今後の改善方策

・入学生等を増やす為にも広報活動等で知ってもらえるようにする。

③特記事項

・用具、用材も使う物によっては低コストのものの選択も重要かと思う。

・物価の高騰、少子化も加味した上での予算設定が必要と思われる。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

・個人情報の取り扱いについては、今後もっと注意が必要になる。

・3ヶ月ごとの自己評価などを行っていますが、改善したい所を達成できていたか？

・教務においては特に学期末時、個人の成績面等の書類管理において、できていない部分を感じることもある。

・SNSでの学生の様子等を掲載しているので、ユニフォーム等の名前など注意しなければならないのかなと思う。

②今後の改善方策

・自分の意識を変える。(考えて動ける様に)

・各自が意識していくこと、また気づいた時にはお互いに注意していく。

・写真の許可は頂いているが、その時の状況によっては写す際に確認が必要なのかなと思う。

③特記事項

・SNS以外でも資料等も学生の情報等扱う際には注意する。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題

- ・学校の移転後、コロナ禍もあり老人ホームや介護施設などでのボランティア活動が途絶えてしまっている。
- ・今年度一年生が積極的にボランティア活動に参加しているので、今後もできる限り続けていきたい。
- ・イベントやボランティアに参加する学生が毎回同じ学生になってしまう。
- ・ボランティア活動の依頼は増えているが参加する学生が限られてしまっている。(土日が多い為)

②今後の改善方策

- ・SNSを利用してボランティア活動の募集など案内をする。
- ・安心して参加ができるよう授業や放課後の指導で技術を修得させる。
- ・現場に立って活動すると、実際のお客様の雰囲気が感じられたり、学校では学べないことが多いので興味を持ってもらえるように授業の一環として取り入れるのもありかなと思う。

③特記事項

- ・現在老人ホーム等ではないが、県内からのボランティアの声が掛かれば希望者を募り実施している。
(広報の1つともなり得る)
- ・とくに年配の方はおしゃれすると表情も明るくなったり、若い人とお話するだけでも気分が変わると思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし